

教育研究評議会議事録（第196回）

日時：令和2年11月26日（木）15時05分～16時40分

場所：事務局第一会議室及びオンライン会議

出席者：小川、藤代、喜多、水野、佐々木、比屋根、藪、宮本、山本（欣）、山本（昭）、宇佐美、八代、倉島、上村、田代、佐藤（繁）、関野、伊藤、横山、松岡、丸山、境野、鎌田、清水、長田、大石、船崎、村上、山下

配付資料

- 議題1 「教育学部への指示事項」に関する教育学部検討結果への対応について
- 議題2 国立大学法人岩手大学内部統制規則等の整備について
- 議題3 岩手大学ダイバーシティに関する基本的考えと性の多様性(LGBT/SOGI)に関する対応ガイドライン（案）
- 報告1 科学研究費助成事業令和2年度採択結果・令和3年度申請状況について
- 報告2 「第4期中期目標期間の財務見通し」に対する意見等（農学部）
- 報告3 - 1 経営協議会報告（第73回）
- 報告3 - 2 国立大学法人の戦略的経営実現に向けた検討会議 「国立大学法人の戦略的な経営実現に向けて～社会変革を駆動する真の経営体へ～中間とりまとめ」
- 報告3 - 3 国立大学協会 「第4期中期目標期間へ向けた国立大学法人の在り方にかかる検討課題（中間まとめ）」
- 報告4 学長・副学長会議報告（第190回～第192回）
- 報告5 岩手大学危機管理委員会（第21回）議事録
- 報告6 令和2年度入試委員会（第4回）記録
- 報告7 令和3年度入学試験実施状況【学部（編入学）】
令和3年度（2021年度）入学試験実施状況【大学院】

議事に先立ち、前回議事録について原案のとおり議事録を確定することとした。

議 題

1. 「教育学部への指示事項」に関する教育学部検討結果への対応について

学長から、「教育学部への指示事項」に関する教育学部検討結果への対応について諮る旨が述べられ、藤代理事から、教育学部に対して指示していた内容やこれまでの経緯と併せて説明があった。また、資料については、今後も調整や検討が必要な内容が含まれており確定したものではないため、取り扱いには注意するよう付言があった。

教育学部長から、教育研究分野の移管の可能性については改めて関係学部と話し合いをさせて頂きたいこと、前倒し対応の可能性については学部等で検討していきたいとの発言があった。また、資料中の「幼稚園免許」については、「募集停止」ではなく「免許を出すことを停止する」ことであるとの説明があった。さらに、田代教育学研究科長から補足説明があった。

今後のスケジュールについて質問があり、藤代理事から、学生等の募集に関しては令和

3年度半ばに公表するため今年度内に判断する必要があるが、「美術」に関してはあと2年ほど検討の期間があるとの説明があった。

審議の結果、おおむね原案のとおり進めていくことを了承し、学長から、教育学部で詳細をさらに詰めて進めていくよう指示があり、再度、資料の取扱いや対外的な対応は慎重にして頂きたい旨の依頼があった。

なお、人文社会科学部長から、学部で議論を進めていく際に資料は使わせて頂きたいこと、教育学部及び執行部から随時進捗状況等を教えて頂き、一緒に協議していききたいとの発言があった。

また、教育学部長から、地方の小規模大学では、スタッフが揃わない状況から共同教育課程への移行や免許を出さないといった大学もある中、県土の広い岩手県の教育の質の維持・向上のために、さらには教員免許取得の可否は学生募集の際の魅力にもなることから、これからは岩手大学全体として考えて頂きたいとの依頼があった。

2. 国立大学法人岩手大学内部統制規則等の整備について

学長から、国立大学法人岩手大学内部統制規則等の整備について諮る旨が述べられ、次いで、佐々木理事から、資料に基づき、

国立大学法人岩手大学内部統制規則

国立大学法人岩手大学における公益通報者の保護等に関する規則

国立大学法人岩手大学における反社会的勢力に対する基本方針

の制定について説明があった。

審議の結果、本日付けで施行することとして、原案のとおり了承された。

3. 性の多様性に関する対応ガイドラインの策定について

学長から、資料に基づき、性の多様性に関する対応ガイドラインの策定について、策定の必要性、経緯及び叩き台として作成したガイドライン案の説明があり、宮本副学長から、補足説明があった。

審議において、実施を担当する部署との調整及び実務的な問題点の洗い出しや、基本的な方針をまず決めてから具体的な位置づけをしてはどうか等の意見があり、今後さらに意見を聴取しながら策定を進めることを了承した。

4. その他

なし

報 告

1. 科学研究費助成事業令和2年度採択結果・令和3年度申請状況について

水野理事から、資料に基づき、科学研究費助成事業令和2年度採択結果について、令和2年度(最終)内定件数の採択率は、新規分及び全体いずれも第3期中期計画の目標値(平成27年度比採択率5%増)を下回り厳しい結果であったが、令和3年度の申請率は、目標値を上回る見込みであるとの報告があった。

学長から、来年度の申請に向けて、目標値の達成に向けた対応の必要があり、部局レベルでも検討をお願いしたいとの依頼があった。

2. 第4期中期目標期間の財務見通しについて

佐々木理事から、資料に基づき、10月22日開催の本会議において提案した第4期中期目標期間の財務見通しについて、農学部から提出された意見に対する説明があった。

「1」については、まずはカリキュラムの見直しを進めることを優先したいこと、「2」については、機能強化についての説明を追加したいとの説明があった。

また、現在の文部科学省の検討状況では、第4期の運営費交付金の考え方が変わる可能性があるため、随時状況を報告するとともに、10月22日開催の本会議において提案した内容については、一旦保留とさせて頂きたいとの発言があった。

3. 経営協議会報告について

学長から、資料に基づき、経営協議会（第73回）について報告があった。

また、11月6日開催の国立大学協会 令和2年度 第2回通常総会資料に基づき、国立大学法人の戦略的経営実現に向けた検討会議「国立大学法人の戦略的な経営実現に向けて～社会変革を駆動する真の経営体へ～中間とりまとめ」及び国立大学協会「第4期中期目標期間へ向けた国立大学法人の在り方にかかる検討課題（中間まとめ）」について、今後、第4期中期・中期計画の策定に向けてご覧頂きたいとの説明があった。

5. 危機管理委員会報告について

学長から、資料に基づき、岩手大学危機管理委員会（第21回）の審議内容について報告があった。

4. 学長・副学長会議報告について

6. 入試委員会報告について

7. 入試結果の報告について

資料のとおり。

8. その他

なし

最後に、学長から、次回の教育研究評議会を、定例の12月24日（木）の15時から開催することが述べられた。